

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和3年度第2四半期（令和3年7月～9月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：42社 サービス業：58社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

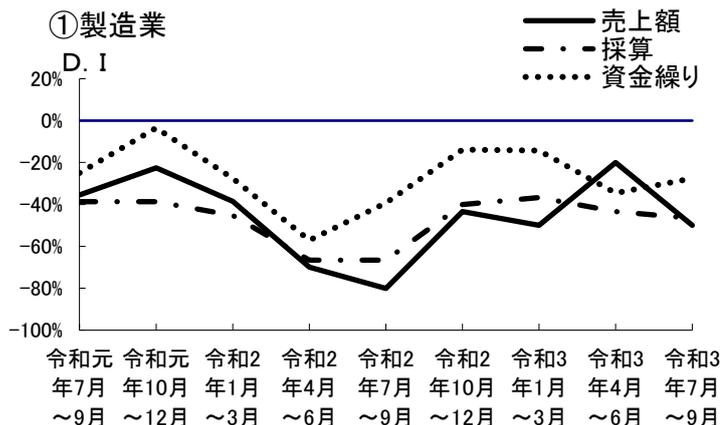
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和元年 7～9月期	 ▲ 36.7	 20.0	 ▲ 41.0	 ▲ 15.2	 ▲ 18.2					
令和元年 10～12月期	 ▲ 26.7	 10.0	 ▲ 46.2	 ▲ 25.4	 ▲ 22.1						
令和2年 1～3月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 55.0	 ▲ 23.7	 ▲ 30.5						
令和2年 4～6月期	 ▲ 69.0	 ▲ 25.0	 ▲ 77.5	 ▲ 60.3	 ▲ 58.0						
令和2年 7～9月期	 ▲ 55.2	 ▲ 20.0	 ▲ 65.9	 ▲ 54.2	 ▲ 48.8						
令和2年 10～12月期	 ▲ 41.5	 ▲ 20.0	 ▲ 64.2	 ▲ 37.9	 ▲ 40.9						
令和3年 1～3月期	 ▲ 39.3	 ▲ 20.0	 ▲ 53.7	 ▲ 34.5	 ▲ 36.9						
令和3年 4～6月期	 ▲ 40.0	 ▲ 25.0	 ▲ 51.2	 ▲ 28.1	 ▲ 36.1						
令和3年 7～9月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 42.9	 ▲ 43.1	 ▲ 32.3						
令和3年 10～12月期	 ▲ 33.3	 ▲ 15.0	 ▲ 36.6	 ▲ 38.0	 ▲ 30.7						

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



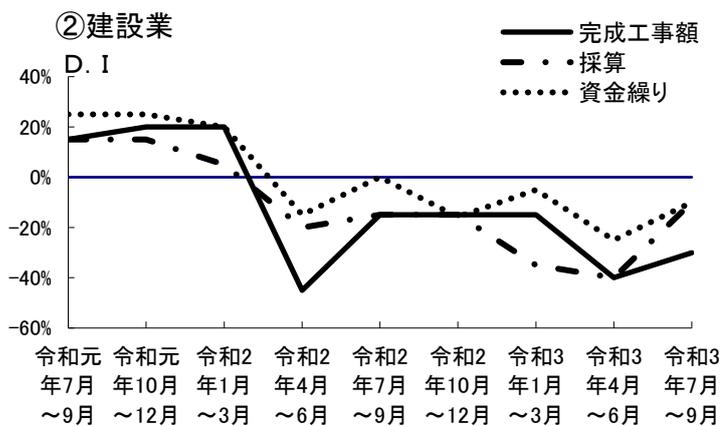
<前期比>

売上額 : 悪化 (▲20.0→▲50.0 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲43.4→▲46.6 ポイント)
 資金繰り : やや好転 (▲34.5→▲27.6 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (37.0%)
 2位 : 人件費の増加 (11.1%)

②建設業



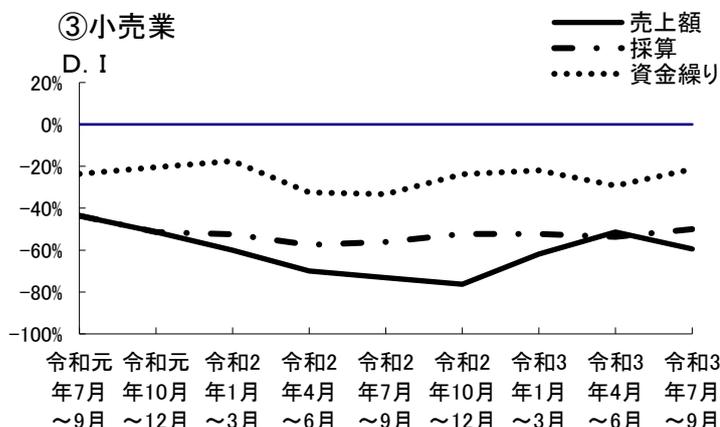
<前期比>

完成工事額 : やや好転 (▲40.0→▲30.0 ポイント)
 採算 : 好転 (▲40.0→▲10.0 ポイント)
 資金繰り : 好転 (▲25.0→▲10.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 従業員の確保難、熟練技術者の確保難 (35.3%)
 2位 : 材料価格の上昇、官公需要の停滞 (23.5%)

③小売業



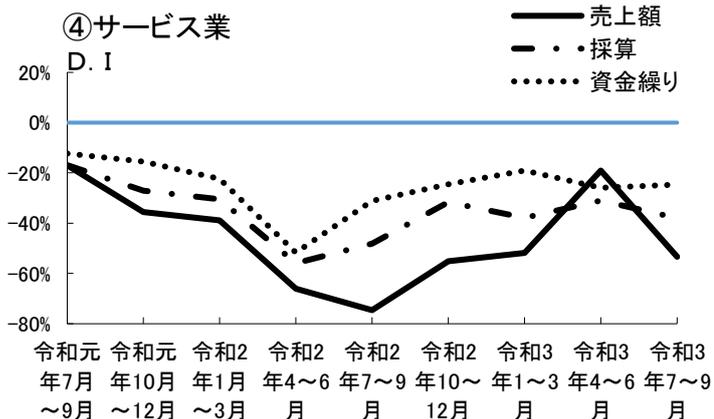
<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲51.3→▲59.5 ポイント)
 採算 : やや好転 (▲53.7→▲50.0 ポイント)
 資金繰り : やや好転 (▲29.3→▲21.4 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (23.7%)
 2位 : 購買力の他地域への流出 (18.4%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 大幅悪化 (▲19.0→▲53.4 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲31.0→▲38.0 ポイント)
 資金繰り : やや好転 (▲25.9→▲24.6 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (38.3%)
 2位 : 利用者ニーズの変化 (19.1%)